

平成26年度事業報告書

(平成26年4月1日より平成27年3月31日まで)

I 公益目的事業

1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) JAPAN CLASSIC FESTIVAL 〈フェスティバルの開催〉

クラシック音楽の普及に向けて青少年をコンサートに招待する事業「JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2014」を開催した。現在のコンサート市場を支えている主要な世代はシニア世代であることを踏まえ、次世代を担う子どもや若い世代へ向けて、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見できるような機会の充実を目指し、会員各社の主催・開催する公演に学生向けのユース席の提供を求め、次世代の観客育成に向けた取り組みを行った。

名称 JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2014（邦題 日本クラシック音楽祭 2014）

会期 2014年11月1日～12月31日

テーマ 「未来を担う子どもたちへ」

開催地 全国（主に首都圏、中京、関西地区にて展開）

参加公演数：55公演 / 招待席提供枚数：571枚 / 応募総数：1,245名

(2) JAPAN CLASSIC NAVI 〈ホームページの運営管理〉

「JAPAN CLASSIC NAVI」の運営については、一昨年のリニューアルを経て、クラシック音楽の普及に係わる団体・事業者・教育機関及びクラシック音楽のファンを対象に最新の情報を提供している。

尚、課題となっているアーティスト・ホール等のデータベース化についてはガイドブックとの互換性について課題があるため、ガイドブックのリニューアル等の時期に併せて検討を継続している。

2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を年間二回開催した。尚、テーマについては一昨年度に会員アンケートを実施し、過去に取り上げる事が出来なかったテーマで実施した。

※第1回 テーマ「本当に意義のあるアウトリーチ・ワークショップとは」

日時 平成27年1月27日（火）15時00分～18時00分

会場 サントリーホール・リハーサル室 [協力:サントリーホール]

参加者 協会会員社 計17名

ゲスト 礒絵里子（ヴァイオリニスト・洗足学園音楽大学講師）

榎本広樹（りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 事業課主査）

長谷川亜樹（サントリーホール 企画制作部プログラミング・ディレクター）

コーディネーター 入山功一（協会副会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内容 各方面で流行のように行われているアウトリーチやワークショップについて、意義や効果を検証して何故取り組むのかを明らかにした。又、アーティスト・公共ホール・民間ホールそれぞれの視点から求められているアウトリーチ・ワークショップの在り方を検討した。

※第2回 テーマ「これで安心!公演にまつわる諸権利について」

日時 平成27年3月24日（火）15時00分～18時00分

会場 一般財団法人商工会館 7BC会議室

参加者 協会会員社 計41名

ゲスト 垣ヶ原靖博（株式会社東京コンサーツ 会長）

桑野雄一郎（弁護士・骨董通り法律事務所）

仁科 岡彦（公益財団法人日本オペラ振興会 事業部部長）

増山 周（公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 事務局長）
コーディネーター 入山功一（協会副会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内 容 公演にまつわる諸権利から、基本となる音楽著作権の仕組みを改めて確認し、著作隣接権としての実演家の権利を明らかにし、現在の二次使用の仕組みを学ぶと共に、グランドライツの仕組みについてゲストの事例等を踏まえ議論を含めた。

II 公益事業

1、アーティスト連携事業（定款第4条第1号関係）

(1) 地域創造連携事業

■公共ホール音楽活性化事業（主催：一般財団法人地域創造）に協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として登録演奏家のプレゼンテーションの実施を受託した。

※平成26年度公共ホール音楽活性化事業（全国13ホールで実施）

秋田県由利本庄市、茨城県つくば市、福井県坂井市、岐阜県揖斐川町、愛知県安城市、滋賀県米原市、大阪府大阪狭山市、和歌山県有田川町、岡山県真庭市、岡山県和気町、愛媛県新居浜市、福岡県太宰府市、鹿児島県長島町

※平成25・26年度登録アーティストによるプレゼンテーション

7人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。
平成26年4月15日（火）／会場：津田塾大学津田ホール（千駄ヶ谷）

■公共ホール音楽活性化事業の継続事業「公共ホール音楽活性化支援事業」についても制作協力体制を整え、プレゼンテーションを開催するとともに、平成25年度は全国22ホールで実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

全81人（組）の登録アーティストのうち、56人（組）によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成26年8月5日（火）・6日（水）・7日（木）／会場：東京芸術劇場 B2F リハーサル室

■公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業）の島根県公演についてアーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施するほか、平成27年度岐阜県セッションの実施に向けた派遣アーティスト（アンサンブル）の選考会を行った。

※島根セッション（島根県、奥出雲市、浜田市、益田市、大田市）

派遣アーティスト アーバン・サクソフォン・カルテット/ピアニトリオーレ

※岐阜セッション派遣アーティスト選考会（事業の実施は平成27年度）

【第一次選考会（音源・書類審査）】平成26年12月22日（月）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】平成27年1月16日（金）／会場：昭和音楽大学第一スタジオ

(2) 地域創造20周年記念コンサート

平成26年8月4日、池袋の東京芸術劇場 B1 シアターイーストにて、公共ホール音楽活性化支援事業の登録アーティスト9組の出演者により、地域創造設立20周年のコンサートが開催され、会員各位の協力を得て協会にて公演の企画制作を行った。

2、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

クラシック音楽事業ガイド（隔年発刊）2015-2016を2015年6月1日に発刊すべく、会員各位の協力を経て編集作業を行った。

「クラシック音楽事業ガイドブック 2015-2016」

発行予定 2015年6月1日 2,000部 定価952円(消費税別)

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイドブック編集委員会

広報誌「ポンプ&クラシックス!」を年間四回季刊として発行した。

発行部数は各号500部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。又、第4号よりオールカラー総頁6頁に拡充して、トピックス、アクティビティ、リレーエッセイ等紙面の充実にも務めている。発行人:関田正幸 / 編集人:徳永英樹

第4号=4月末発行、第5号=7月末発行、第6号=10月末発行、第7号=1月末発行

又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、事業関係官庁関係や関係団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

- (2) 検定制度の導入の事前調査の一環として、調査研究委員会を立ち上げると共に産学連携による「クラシック・コンサート制作 基礎講座」を開催し、既存テキストの利活用と共に、社会に対してどの程度の需要が見込まれるか等についての検証を行った。尚、二日間の受講者より希望者には会員各社で開催するコンサート現場でのインターンシップの受け入れを行った。

第1回委員会 平成26年4月25日(金) 14:00~16:00 協会事務局

第2回委員会 平成26年6月27日(金) 14:00~16:00 協会事務局

第3回委員会 平成26年12月5日(金) 17:00~18:30 協会事務局

※クラシック・コンサート制作 基礎講座~クラシック・コンサートの舞台裏 すべて見せます!!

期 日 平成26年8月2日(土) 13:00~18:00 / 8月3日(日) 09:30~17:00

会 場 昭和音楽大学南校舎 A411

参加者 89名(社会人・一般52人、学生37人)

受講料 学生¥5,000、一般¥9,000(2日間・消費税込) *テキスト代別途

インターン参加者 計34名、インターン受入公演全17公演

登壇講師(50音順) 石田麻子[昭和音楽大学 教授]、乾 美宇[ジャパン・アーツ 海外事業部長]

入山功一[AMATI 代表取締役]、大石修治[神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事]

金山茂人[東京交響楽団 最高顧問]、中井孝栄[インタースペース 代表取締役]

仲道郁代[ピアニスト]、林 伸光[兵庫県立芸術文化センター ゼネラルマネージャー]

山口 毅[東京二期会事務局長]、吉田純子[朝日新聞社 編集委員]

協 力:公益社団法人日本オーケストラ連盟

後 援:日本音楽芸術マネジメント学会、(公社)日本芸能実演家団体協議会、(公社)日本演奏連盟

上野学園大学、大阪音楽大学、国立音楽大学、神戸女学院大学、尚美学園大学、昭和音楽大学、

洗足学園音楽大学、東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、名古屋音楽大学、

名古屋芸術大学、フェリス女学院大学、武蔵野音楽大学

- (3) 共同広報事業

協会のスケールメリットを活かした会員の協同広告事業については、従来の朝日新聞音楽情報欄への掲載取次を継続的に展開しているが、年々減少傾向にはあり平成26年度の掲載は0件となった。

3、音楽文化振興事業(定款第4条第2項関係)

- (1) 文化芸術振興フォーラム(文化省の創設、文化芸術立国に向けて)

当協会が参加する文化芸術推進フォーラムは、文化芸術振興議員連盟(会長河村建夫元文科大臣)と共に主催して以下のフォーラム及びシンポジウムを開催する他、冊子「文化芸術」を発刊する等、文化省の創設と国家予算に占める文化予算の割合を中長期的に0.5%にすべく活動を展開している。

※フォーラム「芸術作品の利用形態の変化と著作権をめぐって」

2014年9月25日(木) 16:00~17:30 衆議院第二議員会館 多目的会議室
※シンポジウム「映画の振興を国家文化戦略に」

2014年10月22日(水) 17:00~19:00 衆議院第一議員会館 大会議室

(2) 音楽芸術マネジメント学会 (マネジメント検定制度の連携研究)

日本音楽芸術マネジメント学会では、平成26年度は第6回夏の研究会〔2014年7月12日(土) 於:東京芸術大学音楽学部〕が開催され、続いて第7回冬の研究大会〔2014年12月7日(日) 於:武蔵野音楽大学江古田キャンパス〕では、「2020年東京オリンピック・文化芸術プログラムで望まれる多文化コンテンツとは何か」と題したシンポジウムに萩野美智子理事が参画する等、積極的な交流活動を推進している。尚、協会主催の公開講座「クラシック・コンサート制作 基礎講座〜クラシック・コンサートの舞台裏 すべて見せます!!」では後援団体として協力をいただいた。

4、国際交流事業 (定款第4条第2項関係)

(1) FACP (アジア文化芸術交流促進連盟) の2014、第32回日本会議 in 川崎の開催に向けて、協会からは茂田雅美理事 (FACP 実行委員会会長) 福田副会長 (FACP 実行委員会事務局長) はじめ、関田会長、下八川副会長、佐藤監事、中坪会員らが協力して成功に導いた。

※第32回FACP2014 日本会議 in 川崎

会期 2014年9月11日(木) ~9月14日(日)

会場 昭和音楽大学 等

主催 FACP (Federation for Asian Cultural Promotion)

特別協力 文化庁 / 共催 川崎市

協力 学校法人東成学園昭和音楽大学、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、
一般社団法人日本クラシック音楽事業協会、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、
公益社団法人日本オーケストラ連盟

5、企業イベント制作事業 (定款第4条第3項関係)

(1) 丸の内文化事業

丸の内元気文化プロジェクトの一環として、丸ビル及び新丸ビルにて、ミニライブ (クラシックサロン) を年間5回開催した。この事業は、大手町・丸の内・有楽町地区再開発推進協議会と文部科学省が推進する事業で、街の文化力を高め、その力で社会を元気にする活動として推進されている。尚、全5回の合計来場者数は約1000人。

※丸の内元気プロジェクト共催事業 日本クラシック音楽事業協会 PRESENTS クラシックサロン
ラ・フォル・ジュルネ オ・ジャポン 2014 丸の内エリアコンサート参加公演

第1回 平成26年5月3日(土) 14時30分~ 企画実施社 [(株) カメラータ・トウキョウ]

第2回 平成26年5月4日(日) 15時30分~ 企画実施社 [(株) 1002]

第3回 平成26年5月5日(月) 14時30分~ 企画実施社 [(株) 東京コンサーツ]

丸の内ミュージックラウンジ2014 参加公演

第4回 平成26年8月9日(土) 13時00分~ 企画実施社 [(株) オフィス・フォルテ]

第5回 平成26年8月10日(日) 13時00分~ 企画実施社 [(有) 新演奏家協会]

(2) 宝くじ文化事業

宝くじドリーム館 プレミアムクラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けたランチタイムコンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間11回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間11回開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとのコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、東京

の全 11 回の合計来場者数は約 4000 人。又、大阪の全 11 回の合計来場者数は約 3000 人。

※東京宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol, 1	平成 26 年 4 月 16 日 (水) 正午～	出演:加藤直明 (トロンボーン)
Vol, 2	平成 26 年 5 月 21 日 (水) 正午～	出演:北島佳奈 (ヴァイオリン)
Vol, 3	平成 26 年 6 月 18 日 (水) 正午～	出演:乗松恵美 (ソプラノ)
Vol, 4	平成 26 年 7 月 16 日 (水) 正午～	出演:丸山勉 (ホルン)
Vol, 5	平成 26 年 9 月 17 日 (水) 正午～	出演:奥田なな子 (チェロ)
Vol, 6	平成 26 年 10 月 8 日 (水) 正午～	出演:松尾俊介 (ギター)
Vol, 7	平成 26 年 11 月 12 日 (水) 正午～	出演:高橋和歌 (ヴァイオリン)
Vol, 8	平成 26 年 12 月 10 日 (水) 正午～	出演:デュオ・レゾネ (クラリネット&ピアノ)
Vol, 9	平成 27 年 1 月 14 日 (水) 正午～	出演:泊真美子 (ピアノ)
Vol, 10	平成 27 年 2 月 18 日 (水) 正午～	出演:吉岡次郎 (フルート)
Vol, 11	平成 27 年 3 月 11 日 (水) 正午～	出演:奥田なな子、デュオ・レゾネ、松尾俊介

※大阪宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol, 1	平成 26 年 4 月 17 日 (木) 16:00～	出演:瀧村依里 (ヴァイオリン)
Vol, 2	平成 26 年 5 月 22 日 (木) 12:00～	出演:ドゥオール (ピアノデュオ)
Vol, 3	平成 26 年 6 月 19 日 (木) 16:00～	出演:村上敏明 (テノール)
Vol, 4	平成 26 年 7 月 17 日 (木) 12:00～	出演:岩佐和弘 (フルート)
Vol, 5	平成 26 年 9 月 18 日 (木) 16:00～	出演:新居由佳梨 (ピアノ)
Vol, 6	平成 26 年 10 月 9 日 (木) 12:00～	出演:竹村佳子 (ソプラノ)
Vol, 7	平成 26 年 11 月 13 日 (木) 16:00～	出演:ピアノトリオ・ミュゼ (ピアノトリオ)
Vol, 8	平成 26 年 12 月 11 日 (木) 12:00～	出演:高木和弘 (ヴァイオリン)
Vol, 9	平成 27 年 1 月 15 日 (木) 16:00～	出演:竹村浄子 (ピアノ)
Vol, 10	平成 27 年 2 月 19 日 (木) 12:00～	出演:神代修 (トランペット)
Vol, 11	平成 27 年 3 月 12 日 (木) 16:00～	出演:新居由佳梨、竹村浄子

Ⅲ 会議等の開催、会員数の状況、その他の概況 (平成 26 年度)

1、会議等の開催

○総会

定時会員総会 6月 4日 (金) 15時 00分 東京・平河町 海運クラブ 3F 303 会議室

○理事会

第 1 回定例理事会 6月 4日 (金) 13時 00分 東京・平河町 海運クラブ 3F 303 会議室

第 2 回定例理事会 10月 17日 (金) 13時 00分 長野・上田市交流文化芸術センター第一会議室

第 3 回定例理事会 1月 23日 (金) 13時 30分 東京・東京オペラシティビル 7階第 5 会議室

第 4 回定例理事会 3月 20日 (金) 13時 00分 東京・霞ヶ関 商工会館 7F BC 会議室

○四役会 (会長・副会長・専務理事・事務局長)

第 1 回四役会 5月 20日 (火) 15時 00分 東京・ジェスク音楽文化振興会会議室

第 2 回四役会 10月 10日 (金) 10時 00分 東京・ジェスク音楽文化振興会会議室

第 3 回四役会 3月 5日 (木) 14時 00分 東京・ジェスク音楽文化振興会会議室

○三役会 (会長・専務理事・事務局長)

第 1 回三役会 12月 25日 (木) 15時 00分 東京・ジェスク音楽文化振興会会議室

第 2 回三役会 2月 24日 (火) 11時 00分 東京・ジェスク音楽文化振興会会議室

○各種委員会

オペラ部会

第 1 回部会 2月 20日 (金) 10時 30分 東京・協会事務局会議室

役員選任委員会

第1回委員会

1月 7日（水）14時00分 東京・協会事務局

第2回委員会

2月27日（金）11時30分 東京・協会事務局

上記の他、マネジメント部会ではコンサート約款のクラシック版の整備等に向けて検討を行った。

2、会員・役員の移動状況報告

平成26年度の会員数

	平成26年4月1日	平成27年4月1日	増減
正会員A	6	7	+1
正会員B	39	33	-6
賛助会員	53	57	+4
名誉会員	0	0	0

入会者：正会員A＝全日本ピアノ指導者協会

正会員B＝ザ・シンフォニーホール

賛助会員＝朝日放送、オフィス・フォルテ、コジマ・コンサートマネジメント、旅工房、
ノジリスタジオ、びわ湖ホール、フェスティバルホール

正より賛助へ移行＝カメラータ・トウキョウ、株式会社テレビマンユニオン、ヤマハ株式会社

退会者：正会員B＝アルテ・エスペランサ、デュオ ジャパン、東音企画、プラネット・ワイ

賛助会員＝朝日エージェンシー、アレグロミュージック、オレンジノート、クリエイション、
ラテーザ

平成26年度の役職員数

	平成26年4月1日	平成27年4月1日	増減
理事	17	17	0
監事	2	2	0
顧問	3	3	0
参与	2	2	0
職員	2（役員兼務1名含む）	2（役員兼務1名含む）	0

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

懸案となっている会員資格と会費の制度改革については、多くの課題もあり、理事会でも継続的に議論を重ねてゆくこととしている。

3、心の復興音楽基金の活動

東日本大震災の被災者支援の一環として設置された「心の復興音楽基金」の活動は、平成26年度の支援事業として5件の事業に総額1,340,000円の支援を行った。

4、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

- ・全国中小企業団体中央会、音楽産業文化振興財団に加盟している。
- ・日本芸能実演家団体協議会、文化芸術推進フォーラム、子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として活動に参画している。
- ・仙台国際音楽コンクール、日本音楽芸術マネジメント学会に役員を派遣して活動を推進している。